

管内地域銀行の令和3年3月期決算の概要

1. 損益の状況

- 令和3年3月期の当期純利益は、経費の減少や株式等関係損益の増加があったものの、債券関係等損益の減少や与信関係費用の増加等により、前年同期比▲14.66%の減益。

(単位：億円)

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	13,037	13,104	12,573	▲531	▲4.05%
資金利益	10,958	10,658	10,610	▲48	▲0.45%
役務取引等利益	1,965	1,969	2,040	+71	+3.62%
債券等関係損益	▲106	269	▲316	▲585	▲217.73%
うち、債券等償却(※)	▲14	▲40	▲20	+20	+49.75%
経費(※)	▲8,762	▲8,744	▲8,695	+49	+0.56%
実質業務純益	4,274	4,360	3,877	▲482	▲11.07%
コア業務純益		4,091	4,194	+103	+2.52%
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)		3,903	4,003	+100	+2.58%
与信関係費用(※)	▲821	▲1,193	▲1,491	▲297	▲24.96%
株式等関係損益	674	391	803	+412	+105.22%
うち、株式等償却(※)	▲33	▲135	▲36	+98	+73.06%
当期純利益	2,896	2,502	2,135	▲366	▲14.66%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金(末残)	107.1兆円	110.1兆円	120.4兆円	+10.2兆円	+9.32%
貸出金(末残)	80.7兆円	82.7兆円	86.1兆円	+3.3兆円	+4.10%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ増加、不良債権比率も上昇。

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比
不良債権額	12,672億円	12,858億円	14,394億円	+1,536億円
不良債権比率	1.55%	1.53%	1.65%	+0.12ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は国際統一基準行、国内基準行ともに前年同期に比べ上昇。

(国際統一基準行：4行)

(国内基準行：17行)

	2年3月期	3年3月期	前年同期比		2年3月期	3年3月期	前年同期比
総自己資本比率	13.17%	13.82%	+0.65ポイント	自己資本比率	9.96%	10.20%	+0.24ポイント
Tier 1比率	12.37%	13.02%	+0.65ポイント				
普通株式等Tier 1比率	12.37%	13.02%	+0.65ポイント				

(注1) 管内地域銀行の集計対象は21行(地方銀行12行、第二地方銀行8行及び埼玉りそな銀行)。31年3月期、2年3月期は22行。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各行の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】
関東財務局理財部 金融監督第1課
TEL 048-600-1145

管内信用金庫の令和3年3月期決算の概要【速報集計値】

1. 損益の状況

- 令和3年3月期の当期純利益は、債券等関係損益の減少や与信関係費用の増加があったものの、資金利益の増加や株式等関係損益の増加等により、前年同期に比べ 24.23% の増益。

(単位：億円)

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	6,089	6,204	6,209	+5	+0.09%
資金利益	5,865	5,864	6,012	+147	+2.52%
役務取引等利益	261	275	265	▲9	▲3.42%
債券等関係損益	8	100	▲100	▲200	▲199.54%
うち、債券等償却(※)	▲0	▲6	▲33	▲27	▲452.36%
経費(※)	▲4,913	▲4,868	▲4,787	+81	+1.67%
実質業務純益	1,175	1,335	1,422	+87	+6.53%
コア業務純益		1,234	1,522	+288	+23.34%
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)		1,142	1,391	+249	+21.81%
与信関係費用(※)	▲274	▲426	▲489	▲62	▲14.54%
株式等関係損益	91	22	123	+101	+453.99%
うち、株式等償却(※)	▲2	▲21	▲2	+18	+87.10%
当期純利益	790	646	803	+156	+24.23%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金(末残)	51.6兆円	52.4兆円	56.7兆円	+4.3兆円	+8.21%
貸出金(末残)	27.1兆円	27.3兆円	29.7兆円	+2.4兆円	+8.77%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ増加、不良債権比率は低下。

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比
不良債権額	10,626億円	10,364億円	10,850億円	+485億円
不良債権比率	3.88%	3.75%	3.62%	▲0.13ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は前年同期に比べ上昇。

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比
自己資本比率	10.07%	10.08%	10.50%	+0.42ポイント

(注1) 管内信用金庫の集計対象は72金庫。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各金庫の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】
関東財務局理財部 金融監督第2課
TEL 048-600-1148

管内信用組合の令和3年3月期決算の概要【速報集計値】

1. 損益の状況

- 令和3年3月期の当期純利益は、債券等関係損益の減少があったものの、資金利益の増加や与信関係費用の減少等により、前年同期に比べ22.00%の増益。

(単位：億円)

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	1,176	1,229	1,204	▲25	▲2.04%
資金利益	1,139	1,173	1,204	+31	+2.70%
役務取引等利益	▲20	▲15	▲10	+4	+28.35%
債券等関係損益	43	59	2	▲57	▲96.62%
うち、債券等償却(※)	—	▲5	▲52	▲47	▲903.95%
経費(※)	▲932	▲919	▲907	+12	+1.36%
実質業務純益	243	309	296	▲12	▲4.08%
コア業務純益		250	294	+44	+17.85%
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)		240	283	+42	+17.64%
与信関係費用(※)	▲151	▲175	▲142	+32	+18.52%
株式等関係損益	5	▲4	30	+34	+834.63%
うち、株式等償却(※)	▲1	▲9	▲0	+8	+96.87%
当期純利益	95	140	171	+30	+22.00%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金 (末残)	9.0兆円	9.1兆円	9.7兆円	0.5兆円	+6.53%
貸出金 (末残)	4.6兆円	4.7兆円	5.0兆円	0.3兆円	+7.35%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比
不良債権額	2,183億円	2,011億円	1,943億円	▲68億円
不良債権比率	4.72%	4.24%	3.81%	▲0.43ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は前年同期に比べ低下。

	31年3月期	2年3月期	3年3月期	前年同期比
自己資本比率	11.45%	11.16%	11.07%	▲0.08ポイント

(注1) 集計対象は51組合(平成31年3月期は52組合)。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各組合の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】

関東財務局理財部 金融監督第3課

TEL 048-600-1254